

お薬手帳の持参にご協力下さい。

お薬手帳は処方されているお薬の名前・量・日数・使い方などを記録する手帳です。副作用歴、アレルギーの有無、過去にかかった病気などについても記入できます。



持参のメリット

他の病院、クリニックでお薬が処方されている場合、患者さんがどんなお薬を処方されているか知ることが、治療の上で大変役に立ちます。

お薬手帳を拝見することで、高血圧、糖尿病、心臓病など患者さんがどのような持病をお持ちか把握することができます。

注意

複数の病院にかかられている患者さんでも、お薬手帳は一冊だけにまとめるようにしましょう。

お薬手帳を、病院や薬局ごとにわけてしまうと患者さまが服用されているすべてのお薬が把握できない可能性があります。



油断
できない

ノロウイルス感染症



ノロウイルス感染症は感染性胃腸炎の一種で、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層に発生します。冬の時期が発生のピークになる傾向がありますが、年間を通して発生します。

2月に東京の小学校で、多くの児童が下痢や嘔吐などの食中毒症状を訴え、計7つの小学校で1000人以上のノロウイルス集団感染が発生。食中毒の原因食材は、料理に使用されていた『きざみのり』でした。



きざみのりは調理の際にふりかけられたもので、乾燥、袋詰めされた商品でした。きざみのりのような乾燥食品からは食中毒が起こらないと思っている方が多いのではないのでしょうか。

感染力が高く、乾燥に強いノロウイルス

ノロウイルスの感染力は強く、わずか10～100個程度のウイルスが体内に入っただけでも感染してしまう可能性があると言われていています。また乾燥にも強く、数時間～数日間、場合によっては、2週間以上も感染させる可能性があるとの報告があります。

手洗い・消毒をまめに行い、感染を予防しましょう。

レラ～Rera～



目次 ～Contents～

- 院長の独り言
- 診察券は忘れずにお持ち下さい
- 心臓CTのご紹介
- 看護師さん大募集中!!
- お薬手帳の持参にご協力下さい
- ノロウイルス感染症

院長の独り言

～療養病床の目的と今後～



当院の入院ベッドには、急性期の病気やケガを扱う一般病床のほかに療養病床というベッドがあります。療養病床とは「主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるためのもの」と規定されています。当院の療養病床は医療療養型病床と呼ばれるもので「慢性期の状態にあって入院医療を必要とする患者に対するサービスを医療保険で提供する病床」です。つまり介護の手間はかかりますが入院して医療を行う必要のない人が入る介護療養型病床や介護施設とは違います。しかし、「長期にわたり」という意味は「何年でも病院に置いてくれる」という意味ではなく、退院して自宅または施設に移ることができるようになるまでという意味です。療養病床に入院している患者さんはどの程度の医療が必要になるかという点から「医療区分1～3」に分類されます。



医療区分3は、人工呼吸器を使っている、24時間点滴をしている、酸素吸入が必要であるなど、医師と看護師によって常時監視・管理が必要な重症者です。医療区分2は、病気そのものが難病（多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、重症のパーキンソン病、重症の慢性閉塞性肺疾患など）の場合と病状が悪化して治療がいる場合（肺炎、急性尿路感染、褥瘡など）または人工透析、気管切開、頻回の喀痰吸引のように医療内容が専門的であるものです。これら以外の、必要とする医療が外来や訪問診療でも可能なものは医療区分1になります。

平成30年度からは、病院が療養病床を維持するためには、医療区分1の患者さんの割合を20%以下にしなければなりません。行くところがない、施設は経済的に無理だ、というのは療養病床に入院している理由にはなりません。現在、医療区分1で療養病床に入院している患者さんとご家族には、今後退院後の行き先についてご相談させていただきますので宜しくお願いします。どの医療区分に相当するか分からない方はご遠慮なく病院スタッフにお尋ね下さい。



第三回

心臓CTのご紹介



循環器内科
上原 明彦医師

第1回に「心臓CT」をご紹介し、第2回では検査として心臓CTが有効な事例をお示しました。最終回の今回は、冠動脈の治療後の評価として有用な事例を示します。

最近、心筋梗塞・狭心症の治療では閉塞または狭くなった血管の中にステントというメッシュ状のパイプを入れることが多くなっています。一定のサイズ以上のステントでは、再狭窄が生じていないかを心臓CTで確認することができます。その例を紹介します。

図①の患者さまはステント治療後の方ですが再狭窄はありませんでした。患者さまによっては、血管の狭い箇所を迂回（バイパス）するように、自らの他場所の血管と心臓の血管（冠動脈）を移植し縫い合わせるバイパス術が施術される場合があります。こうしたバイパス血管の閉塞や狭窄やつなぎ目の狭さをCTではいろいろな角度から評価できることから非常に有用となっています。

図②の患者さまは心筋梗塞後の方でバイパス手術後を受けました。バイパスは良好で狭窄などはありませんでした。

連載はこれで終了となります。患者様一人ひとりの状態はそれぞれ異なりますので、ご希望の方は、月曜・水曜午後の循環器外来にて詳細をご相談下さい。

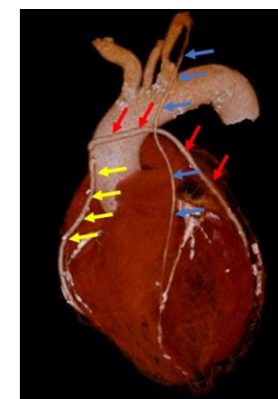
図①

赤い矢印部分がステント



図②

各色矢印部分がバイパス



当院では冠動脈CT検査を行っています。

動悸・息切れ・胸部痛などが気になる時は
月・水 13:00～16:00の上原Drの外来を
受診、ご相談下さい。



診察券は忘れずにお持ち下さい

診察券は、受付時だけでなく診察や検査を行う際にも使用しています。必ず必要となりますので、お持ちの方は忘れずに持参いただきますようお願いいたします。

なお、忘れてしまったり紛失してしまった場合には再発行料を頂戴することがありますので予めご了承ください。



一緒に地域を支えよう!!



看護師さん大募集中!!

現在、通所リハビリセンターにて働いてくれる
看護師さんを大募集中です。

院内保育所・学童保育を24時間利用可能です。
病気のお子様をお預かりする病児保育もあり、安心して働くことができます。

詳しいお問い合わせ先 静仁会静内病院 TEL0146-42-0701
看護部長代行 細川まで